Rec'd PCT/PTO 25 JAN 2005



特許協力条約

以 肝 助 刀 条

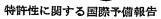
PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

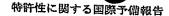
10% 1/1 9	AUG 2004
* :	PCT

出願人又は代理人						
の 告類 記号 283 P C T	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	•				
国際出願番号 PCT/JP03/09522	国際出願日 (日.月.年) 28.07.2003 (日.月.年) 26.07.200	 0 2				
国際特許分類(IPC)						
Int. C17	H01G 9/038, H01G 9/035					
出願人 (氏名又は名称)						
三洋化成工業株式	<u> 숙산</u>					
は施行規則第57条(PCT36条に基づき 法施行規則第57条(PCT36条)の	この国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 記定に従い送付する。					
	「めて全部で <u>3</u> ページからなる。					
3. この報告には次の附属物件も添付される a 附属書類は全部で	いる。 ページである					
,	-					
囲及び/又は図面の用紙(P(された及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求 T規則70.16及び実施細則第607号参照)	の範				
第1欄4.及び補充欄に示した	ように、出願時における国際山野の間で、					
国際予備審査機関が認定した会	替え用紙	この				
b 国 電子媒体は全部で	(200 111 11	.				
配列表に関する補充欄に示すよう ブルを含む。(実施細則第802	に、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連する 身参照)	r)。 テー				
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含	t _e .	-				
※ 第Ⅰ欄 国際予備審査報告の	主法	1				
│ 第Ⅱ欄 優先権						
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如						
	見定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを馴 説明					
けるための文献及び	説明	夏付				
□ 第VI欄 ある種の引用文献 □ 第VI欄 国際出願の不備						
第四個 国際田願の不備 国際出願に対する意	a	į				
	ne .					
国際予備審査の請求部を受理した日						
15.01.2004	国際予備審査報告を作成した日					
	28.07.2004	1				
名称及びあて先 日本国特許庁 (I P E A / J P)	特許庁審査官(権限のある職員) 5R 93.7	5				
郵便番号100-89 ₁₅		<u> </u>				
東京都千代田区貿が関三丁目4番3月	桑原 清					
	電話番号 0 3 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 6 5					
学 P C m ノー ¬ - ・		- 1				



国際出願番号 PCT/JP03/09522

第 I 欄 報告の基礎	
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の	つ言語を基礎とした。
この報告は、	冬) の相定に其づく合合に下燃ナスをみに担切よる
X 出願時の国際出願書類	~ (\\ \% (\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
明細書第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	付けで国際予備審査機関が受理したもの
□ 請求の範囲 第 項、出願時に提出 第 項*、PCT19条 第 項*、	の規定に基づき補正されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
図面 第 ページ/図、出願時に提出	付けで国際予備審査機関が受理したもの されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。 3. 補正により、下記の書類が削除された。	
□ 明細書 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	ページ 項 ページ/図
4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつり えてされたものと認められるので、その補正がされなかったもの	以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 Oとして作成した。(PCT規則70.2(c))
□ 明細審 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	ページ 項 ページ/図
* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがる	ある 。



国際出願番号 PCT/JP03/09522

. 見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-8	·
進歩性(IS)	請求の範囲	1-8	
産業上の利用可能性 (ÍA)	請求の範囲 請求の範囲	1 - 8	

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: JP 2000-281657 A(三洋化成工業株式会社)2000.10.10 文献2: JP 2000-232037 A(三洋化成工業株式会社)2000.08.22 文献3: JP 2000-311839 A(三菱化学株式会社)2000.11.07 文献4: WO 95/15572 A1(三洋化成工業株式会社)1995.06.08

請求の範囲1-8について

国際調査報告で引用された文献1(特に,特許請求の範囲,[0035]-[0041],[0045] 参照。)には、副生する炭酸ガスを系外に除去しながら生成された、1-エチル-3-メチルイミダブリウムテトラフルオロボレートを電気二重層キャパシタ用電解液として用いること、電解液の溶媒として、カーボネート類などを用いること、この電解液に含まれる不純物が少ないことが記載されている。

したがって、請求の範囲1において、式(2)で特定される環状アミジニウム塩誘導体(環状アミジニウム塩と炭酸ガスが反応して生成されるもの)は特定値以下であるものと解される。よって、請求の範囲1-8は進歩性を有しない。

同文献 2 (特に、特許請求の範囲及び[0012]-[0017]参照。)、同文献 3 (特に、特許請求の範囲,[0017]参照。)、同文献 4 (特に、特許請求の範囲参照。)にも同様に、1,3-ジメチルイミダゾリウムや1-エチル-3-メチルイミダゾリウムと、有機酸とからなる塩を電気化学キャパシタ用電解液の溶質として用いることが記載されている。

さらに、同文献3には、電気化学キャパシタに用いられる電解液において、不純物を特定し、所望する特性を満たすように、その不純物の含有率を特定値以下にすることが記載されているから、同文献1~4に基づいて、請求の範囲1-8に係る発明の構成とすることは、当業者が容易に想到し得た事項である。よって、請求の範囲1-8は進歩性を有しない。